

道徳教育の取扱説明書

貝塚茂樹著

教育再生に直結 道標となる一書

著者は育鵬社から出版されてゐる『十三歳からの道徳教科書』の編輯委員も務めた道徳教育の泰斗で、関連書籍の執筆も多い。それでも著者は「日本の道徳教育の専門家は五人くらゐ」と語る。その最大の理由は、戦後日本が道徳を教科化してこなかったことにある。

戦後、占領軍によって「修身・日本歴史・地理」の三教科が停止させられた、との記述が多い中、このいはゆる「三教科停止指令」は教科書の書き直しを命じたものであったとする著書の指摘は興味深い。実例として、昭和二十一年の第一次米国教育使節団報告書では「特別の倫理科を父兄も生徒も期待してゐるやうである。日本人の現在もってゐるもの、の則ち礼儀を以て修

身科をはじめなら、それによからう」と勧告してゐた。この経過を辿れば、修身科を廃止し、新たに道徳の時間を設けながら教科化に踏み切らなかったのは文部省の選択であったことが理解できる。

著者は道徳を「自分が生きる中で、他者との関係を構築するにあたっての理論と方法」と位置付け、昨今の自殺・引きこもりの増加や、「無縁社会」といはれる現代の日本において孤独死が頻発する状況から、今こそ道徳教育が求められてゐると切実に訴へ、現時点は「再生」か「溶解」かの正念場だと言ひ切る。戦後すぐに修身科を廃止し、教育現場で鬼子のやうに扱はれる道徳の時間を設けたのは、まぎれもなく日本人自身である。道徳教育を今後どうするかは、巷間言はれてきた占領政策の残滓払拭や、真の独立回復などといったものではなく、日本人のための教育をどう再設計するかに直結する問題だ。

安倍晋三元総理を再度、総裁に選任した自民党では先月、教育再生実行本部を総裁直属の機関として設置した。「基本政策」「いじめ問題対策」「教科書検定・採択改革」「高等教育の国際化」「教育委員会制度改革」の五分科会を設け、今月中には意見集約をおこなひ、次期衆議院選挙に向けた公約としていく予定だ。数少ない道徳教育研究者の手になる本書が出版されたことは、その大きな道標となるに違ひない。

教員免許の取得で道徳に要するのは一単位（十五時間の講義）で、これを正式な教科

道徳教育の 取扱説明書

教科化の必要性を考へる

道徳の教科化は、国家による価値の押し付けなのか、それとも道徳教育再生の切り札なのか。

道徳教育の新たな地平を拓くために、道徳の教科化について真摯に向き合ふべき時が来ている。

7月出版

の則ち礼儀を以て修

身科をはじめなら、それによからう」と勧告してゐた。

安部晋三元総理を再度、総裁に選任した自民党では先月、教育再生実行本部を総裁直属の機関として設置した。「基本政策」「いじめ問題対策」「教科書検定・採択改革」「高等教育の国際化」「教育委員会制度改革」の五分科会を設け、今月中には意見集約をおこなひ、次期衆議院選挙に向けた公約としていく予定だ。数少ない道徳教育研究者の手になる本書が出版されたことは、その大きな道標となるに違ひない。

貝塚茂樹



1890円、学術出版会刊。ブックス鎮守の杜取扱書籍（参議院議員ありむら治子事務所秘書・白鬚神社権禰宜室来正和）